

# 物部川水系における流域治水の推進方針 【第2版】

## 主な改訂内容について

令和4年3月25日

# 「物部川水系における流域治水の推進方針【第2版】」の主な改訂内容について

## ① 主な改訂内容と構成の見直し

### 【第1版】

本稿について.....

I 気候変動による洪水流量増大の見通しと基本的な方向性.....

II 流域治水を推進するための対策.....

1. 氾濫を減らす.....

1-1. 本川の洪水処理能力向上の加速策.....

1-2. 本川の破堤対策.....

1-3. 集水域における雨水・土砂流出対策.....

2. 備えて住む.....

2-1. 氾濫域における居住の安全を確保する.....

3. 安全に逃げる.....

3-1. 氾濫時の避難・応急対策、氾濫後の復旧を強化する.....

3-2. 氾濫域の重複する他河川の流域治水.....

4. 対策のまとめ.....

5. あらゆる主体への参加の呼びかけ.....

III 今後の進め方.....

1. 各対策の効果特性に応じた相互補完.....

2. 目標と取組方針.....

3. 各自治体による検討.....

4. 今後の進め方.....

物部川水系 流域治水協議会 名簿.....

開催経緯.....

### 【第2版】

本稿について.....

I 気候変動による洪水流量増大の見通しと基本的な方向性.....

II 流域治水を推進するための3方策.....

1. 氾濫を減らす.....

1-1. 本川の洪水処理能力向上の加速策.....

1-2. 本川の破堤対策.....

1-3. 集水域における雨水・土砂流出対策.....

2. 備えて住む.....

2-1. 氾濫域における居住の安全を確保する.....

3. 安全に逃げる.....

3-1. 氾濫時の避難・応急対策、氾濫後の復旧を強化する.....

3-2. 氾濫域の重複する他河川の流域治水.....

4. 各機関による取組.....

5. 対策のまとめ.....

6. あらゆる主体への参加の呼びかけ.....

III 流域治水の目標とその達成に向けた3方策の組合せ.....

1. 目標と取組方針.....

2. 目標達成のための3方策の組合せ.....

2-1. 「氾濫を減らす」「備えて住む」対策の効果分析.....

2-2. 物部川における氾濫特性に応じた避難検討.....

2-3. 流域治水3方策の特性を活かした組合せ.....

IV これまでの経緯.....

1. 物部川水系流域治水協議会 開催経緯.....

2. 部会の開催.....

3. 関連会議.....

3-1. 物部川流域学識者会議.....

3-2. 物部川濁水対策検討会.....

3-3. 物部川清流保全推進協議会.....

V 今後の進め方.....

物部川水系 流域治水協議会 名簿.....

それぞれの対策について、最新情報に更新

各機関による取組について、代表的な事例をⅡ章1.~3.に記載し、その他の個別の事例を4.で紹介(構成の変更)

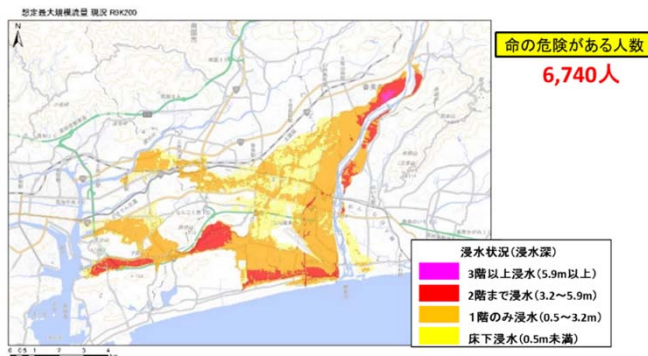
流域特性に応じた効果的な対策(3方策の組合せ)について検討  
 ・「命の危険のある人」の計算の精度を向上  
 ・今年度実施した避難検討を追加

今年度実施した「部会」の報告を追加

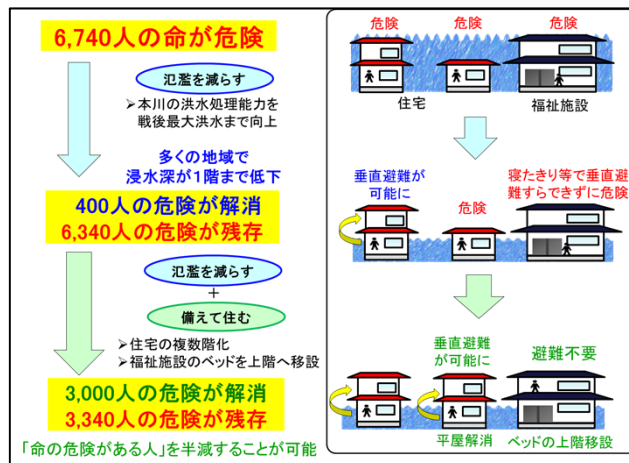
関連する会議の紹介を追加(今後連携して取組む予定)

# 「物部川水系における流域治水の推進方針【第2版】」の主な改訂内容について

## ② 「命の危険がある人」の精度向上



より精度の高いモデルを使用し再計算



## ⑤ 部会・関連会議の追加

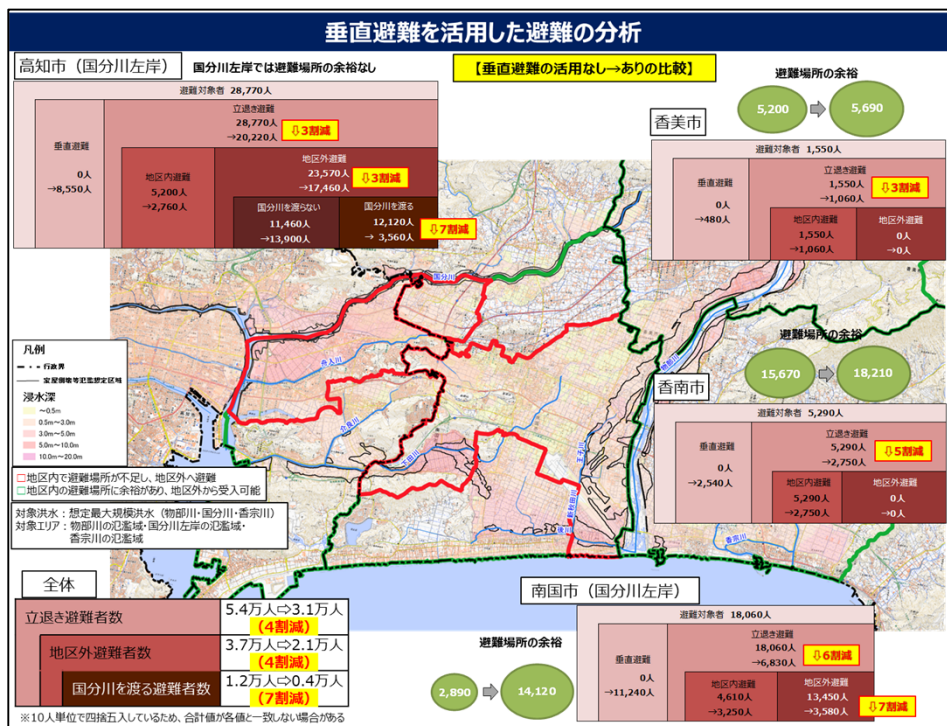
- 部会の開催実績を記載
- 関連する会議の取組を記載



部会の例：物部川漁協松浦組合長の講演会

## ③ 物部川避難検討の追加

今年度の検討内容を追加



## ④ 主な対策と適用地域

「第Ⅱ章5.対策のまとめ」に追加

流域治水の対策は適用する地域(集水域・氾濫域)によって効果が異なる場合がある

「水を貯める」という同じ機能を持った施設であっても、目的とする効果が異なると、名称も運用も変えていく  
 集水域に有効な流域治水対策であっても、そのまま氾濫域に適用すると逆効果となる場合も(その反対もあり得る)

対策内容	目的とする効果	適用地域	
		集水域(氾濫域を除く)	氾濫域
雨水貯留施設 運用: 雨水をできるだけ多く貯められるよう、施設内の水を降雨前に排出しておく	効果: 雨水を貯留し、河川への流出量を低減させる施設 運用: 雨水をできるだけ多く貯められるよう、施設内の水を降雨前に排出しておく	○	○
遊水池(調節池) 運用: ピーク時の洪水をできるだけ多く貯められるよう、施設内に洪水ピーク前に水が入らないようにしておく	効果: 洪水の一部を貯留し、下流のピーク洪水流量を低減させる施設 運用: ピーク時の洪水をできるだけ多く貯められるよう、施設内に洪水ピーク前に水が入らないようにしておく	○	?
農地から宅地等への土地利用転換の抑制	土壌への浸透が損なわれ河川への雨水流出が増えることを未然に防ぐ	○	○
田んぼの設置	積極的に雨水を貯めることで、河川への雨水流出を減らす	○	?
低地への盛土の抑制	氾濫水を貯留できなくなることで、周辺地区の浸水深が増すことを未然に防ぐ	-	○
輪中堤・長距離の堀などの設置	氾濫水を遮断することで、守りたい地区の浸水深を下げる	-	?
排水施設の整備	氾濫水を早期に排出することで浸水継続時間を短くする	×	?

○: 効果は確実    ×: 逆効果    ?: 効果と逆効果の比較分析が必要